

空飛ぶクルマ－空を飛べる車？車の様に日常生活で使う飛ぶ乗り物？

工学研究科 航空宇宙工学専攻 砂田茂

ここ数年、空飛ぶクルマの話題が絶えません。2025年の大阪万博では、空飛ぶクルマで大阪湾上を人を運ぶという話も聞きます。空飛ぶクルマとは、「走行機能に加えて、空を飛ぶ機能を持った車」でしょうか。「車の様に我々の日常生活で使う飛ぶ乗り物」なのでしょうか。かつては前者が主だった様に思えます。走行する車から翼が出てきてプロペラで推進力を発生し飛行、こんなイメージです。近年は、走行機能を有さない、後者の機体がほとんどです。詳細は講演で御紹介しますが、ドローンを大きくしたもの。大きくしたドローンと飛行機を組み合わせたもの。傾くプロペラを持つもの。・・・・・・・・・・ どの形態が残るか、私には分かりませんが、最も重要視されるのは安全性であることは間違いないと思います。乗っている人にも地上にいる人にも安全な乗り物でなければなりません。我々の周りで使用するので、騒音や機体が巻き起こす風も問題になります。実際に使用したら、想像できなかった問題が出てくるかもしれません。

どのような形態の空飛ぶクルマで、いつ頃、我々は飛べるのでしょうか。飛ぶことが身近になったら、我々の生活が、どの様になるのでしょうか。我々の思考方法まで変わるのかもしれませんが。空飛ぶクルマの工学の1側面だけに係わっている私には、空飛ぶクルマによって、人や人間社会がどう変わるか想像もつきません。私は工学の1側面から空飛ぶクルマを御紹介します。皆さんが、もっと広い視点で空飛ぶクルマについて考えて下さるきっかけになればと思います。